

平成31年 2月27日
四国地方整備局平成30年度 第2回
四国地方整備局総合評価本局小委員会の開催結果について

平成30年度第2回四国地方整備局総合評価本局小委員会を平成31年1月23日に開催し、平成29年度（H30.1月以降）から平成30年度（H30.11月末迄）の総合評価落札方式による本官契約の工事について提示し、その中から委員により抽出していただいた代表工事3件について具体的な総合評価内容の説明を行い、ご意見をお伺いしました。

また、上記と同じ期間における総合評価落札方式、プロポーザル方式による本官契約の建設コンサルタント業務等について提示し、ご意見をお伺いしました。

これらの意見を参考に、総合評価落札方式等の審査又は評価が、より一層中立かつ公正に行われるよう今後とも努めて参ります。

【主な意見の概要】

- ・技術提案の評価でばらつきが出ない工事では、業務合理化の観点からも評価内容の分析を踏まえた上で、企業・技術者評価のみとすることも検討されたい。
- ・企業・技術者の評価においては、現状の評価状況を確認した上で、評価項目や評価基準の設定について、今後とも検討が必要である。
- ・工事を実施するにあたり、「施工者として常識的なことを把握しているかを確認する」趣旨で技術提案を求めることは意義がある。

本局小委員会の概要

1. 日時：平成31年1月23日（水）14：00～16：00
2. 場所：高松サンポート合同庁舎南館1F103中会議室
3. 出席委員：那須委員、長谷川委員、武藤委員
4. 議事次第・・・・・・別紙－1
5. 開催結果の概要・・・・別紙－2

＜問い合わせ先＞	国土交通省 四国地方整備局	TEL：(087) 851-8061 (代表)
【企画部（全般）】	技術管理課長 庄野 達也	(内線3311)
	工事窓口：技術管理課長補佐 田邊 守英	(内線3314)
	業務窓口：技術管理課長補佐 大西 篤	(内線3313)
【港湾空港部】	品質確保室長 森田 真治	(内線6413)

日時：平成３１年１月２３日（水）１４：００～１６：００

場所：高松サンポート合同庁舎南館１Ｆ１０３中会議室

平成３０年度 第２回 四国地方整備局総合評価本局小委員会

議 事 次 第

１．開 会

２．報告事項

- １）平成３０年度の総合評価落札方式による契約結果等について

３．審議事項

- １）平成２９・３０年度の適用工事・業務（本官契約）について
- ２）具体事例について
 - 平成３０－３２年度 新町川橋上部工事
 - 須崎港湾口地区防波堤築造工事
 - 平成３０－３１年度徳島地方検察庁仮庁舎新営工事

４．閉 会

平成 30 年度第 2 回四国地方整備局総合評価本局小委員会 開催結果の概要

日時：平成 31 年 1 月 23 日（水） 14：00～16：00

場所：高松サンポート合同庁舎南館 1 階 103 中会議室

出席委員 高知工科大学 教授 那須 清吾
香川大学 教授 長谷川 修一
徳島大学大学院 教授 武藤 裕則

I 報告事項

平成 30 年度までの総合評価落札方式による契約結果等について

II 意見聴取の対象

小委員会の役割が、複数の工事（総合評価落札方式）及び業務等（総合評価落札方式、プロポーザル方式）に共通する評価方法及び個別工事、業務等の評価方法や落札者の決定方法に関することに対して意見を聴取することを踏まえ、平成 29 年度（H30.1 月以降）から平成 30 年度（H30.11 月末迄）の総合評価落札方式による工事 55 件（本官契約工事）について評価項目の内容等を提示。

また、上記と同じ期間における総合評価落札方式、プロポーザル方式による建設コンサルタント業務等 50 件（本官契約業務）について提示。

【工事関係】

平成 29・30 年度対象工事

本官（本局）契約工事（H30.11.31 基準日）

	開札済み	手続き中	準備中	合計	備考
技術提案評価型（S 型）3 テーマ	1 件	1 件	0 件	2 件	
技術提案評価型（S 型）2 テーマ	28 件	0 件	0 件	28 件	
技術提案評価型（S 型）1 テーマ	16 件	1 件	0 件	17 件	
施工能力評価型（Ⅰ 型）	1 件	0 件	0 件	1 件	
施工能力評価型（Ⅱ 型）	7 件	0 件	0 件	7 件	
小 計	53 件	2 件	0 件	55 件	
総 合 計	53 件	2 件	0 件	55 件	

【業務関係】

平成 29・30 年度対象業務等

本官（本局）契約業務（H30.11.31 基準日）

		特定・開札済	手続き中	準備中	合計
業務	プロポーザル方式	21件	2件	1件	24件
	総合評価落札方式	24件			24件
役務	企画競争方式	2件			2件
合計		47件	2件	1件	50件

III 主な意見の概要

- ・ 技術提案の評価でばらつきが出ない工事では、業務合理化の観点からも評価内容の分析を踏まえた上で、企業・技術者評価のみとすることも検討されたい。
- ・ 企業・技術者の評価においては、現状の評価状況を確認した上で、評価項目や評価基準の設定について、今後とも検討が必要である。
- ・ 工事を実施するにあたり、「施工者として常識的なことを把握しているかを確認する」趣旨で技術提案を求めることは意義がある。